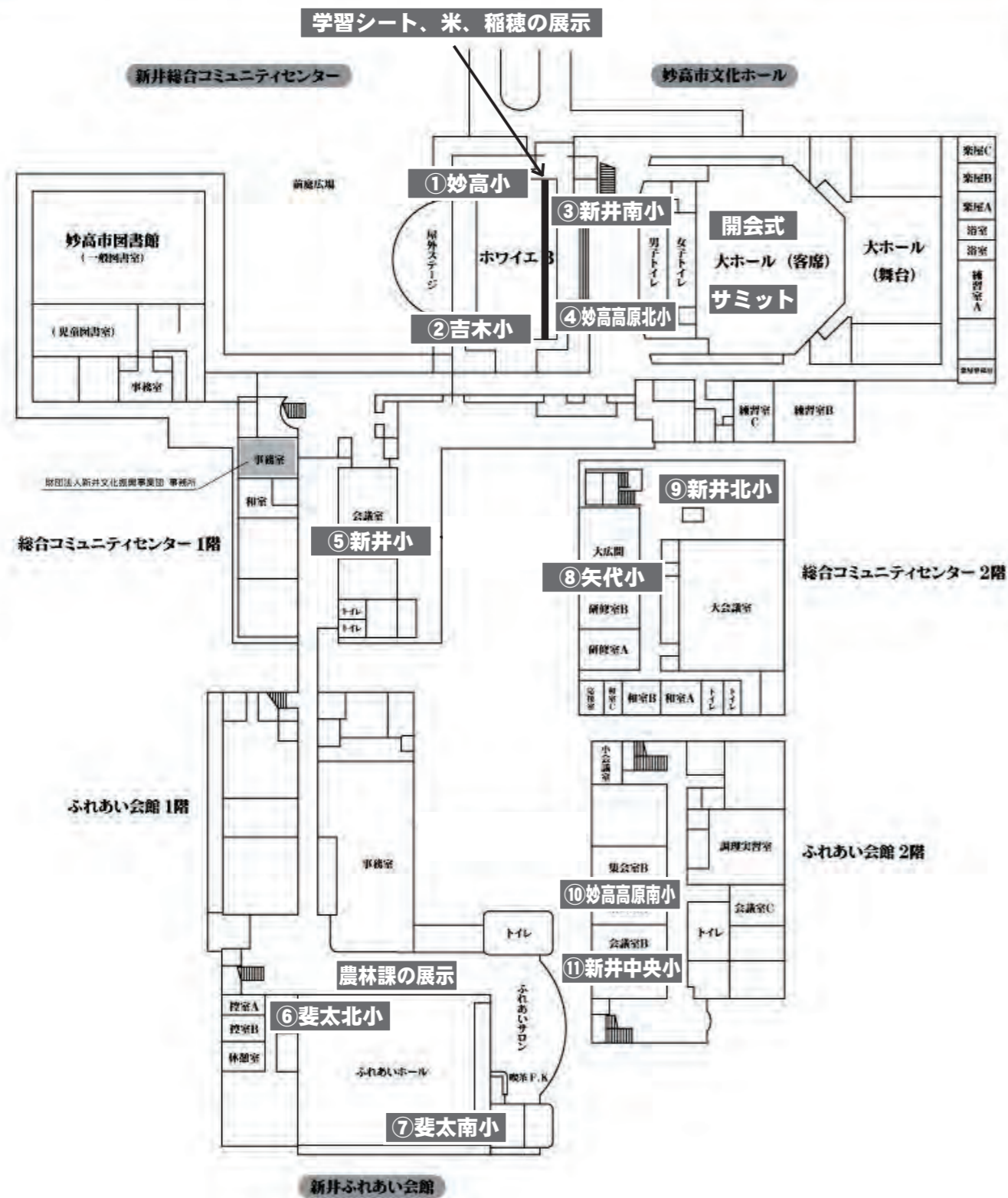


妙高市文化ホール / 新井総合コミュニティセンター / 新井ふれあい会館 施設配置図



妙高っ子「米こめサミット」



- 1 期日 平成21年11月18日(水)
- 2 会場 新井ふれあい会館、コミュニティセンター
文化ホール
- 3 日程 13:00～ 開場
13:30～13:55 オープニング(文化ホール)
 - ・米こめサミットに期待する 教育長 濁川 明男
 - ・各学校のミニアピール 各校代表児童
 14:05～15:05 各校の発表(各コーナーで)
 - ・開始時刻 1回目 14時05分から20分間
 - 2回目 14時25分から20分間
 - 3回目 14時45分から20分間
 15:15～16:00 サミット(文化ホール)
 - ・各校の代表児童による意見発表
 - ・サミットの講評 認定農業者会 会長 加藤 清 様

オープニングとサミットは、文化ホールで実施いたします。来賓、保護者席をご利用ください。
各校の発表は、3回繰り返します。上記の配置図を参考に、各校の発表をご覧ください。

期待する子どもの姿
 稲の栽培活動・米こめサミットを通して、
 ① 多面的に考える子
 ② 交流を通して、自分の考えを深める子
 ③ 妙高市の米づくりに関心を高める子

妙高市教育委員会



①妙高小学校「私たちの妙高地区の米」

- ・耕作放棄地を田んぼにする取組
 - 一から手作業での米作りに挑戦
 - 地域の農家の方にいろいろな工夫を教えてください
 - 10月5日になっても半分の稲は緑色...心配
- ・土の色も米の種類も、工夫もいろいろある
 - 地域の山と川に秘密があった

②吉木小学校「みんなで育てよう!『おひさまいっぱい きらきら米』

- ・初めての田植え、農作業、稲刈り
 - 稲の生育と天候の関係に気がつく
 - 農作業は、天候に大きく左右される
- ・農作業の大変さと米作りの苦労に気がつく
 - 倒れない稲の改良
 - 水不足を解消する用水のありがたさ



③新井南小学校「ふるさとの棚田」

- ・水原地区の「棚田」と学校周辺の平田を比較する
- ・「棚田」、それは、命をはぐくむ場所
 - 天水田...クロメダカ、ドジョウ、タイコウチ、コオイムシ等
- ・「棚田」での米作りは大変
 - 大型機械が使えない、除草剤を使わない、山の湧き水を利用
 - お年寄りが「棚田」を守っている

④妙高高原北小学校「スマイル米でみんなスマイル!」

- ・できるだけ農薬を使わずに米を作る
 - 田んぼ環境鑑定士の小幡さんに学ぶ
 - ここには虫がいるつまり水がきれいだからおいしい米ができる
- ・数種類の米を育てて違いを観察する
 - 同じ品種でも水により生長の様子が異なるのではないかと
 - 昔の米作りについて元農業指導員の中嶋さんに学ぶ



⑤新井小学校「米から考えるスマイル生活」

- ・米を育てて考えよう<雑草・病害虫の種類は?>
 - 雑草の種類は? 稲の病気とは?
 - 稲の害虫とは? 益虫とは?
- ・米から考えよう<米の安全性・栄養・利用・行方>
 - 残留農薬とは? 茶碗1杯のお米の栄養は?
 - 自主流通米とは? 米粉を使った食べ物とは?

⑥斐太北小学校「どうして古代米?だから、古代米」

- ・古代米がコシヒカリに劣るところ
 - 収穫量が少ない(約半分くらい)
 - 野生の米なので、芒(のぎ)が痛い。(稲刈り、脱穀の際)
- ・古代米の魅力
 - おいしい、栄養満点、強い、珍しい
- ・古代米のおいしさ、良さを知ってほしい 食べて、育ててほしい



⑦斐太南小学校「ふるさと 食 発見!」米の可能性を調査

- ・無農薬・有機肥料で米作り
 - 田起こし、田植え、草取り、畦の草刈り、収穫、脱穀、もみすり
 - 重労働に昔の人の苦労と大変さを実感
- ・米を生かしきる
 - 食糧自給率が40%となった現在、私たちにできることは?
 - お米を活用する可能性を探る(調理法、米粉、稲藁の活用)

⑧矢代小学校「矢代 マイ(米) チャレンジ!」

- ・すごいぞ!矢代米!
 - 矢代米の特徴やおいしさの秘密を紹介
- ・矢代 マイ(米) チャレンジ!
 - 作業の様子や稲の生長の記録から考えたことを紹介
- ・食べようお米! 作ろうお米!
 - 私たちとお米とのこれからの関わり方について考える



⑨新井北小学校「ピカピカ元気無農薬米~米と食とのつながり~」

- ・無農薬で栽培したコシヒカリともち米
 - 収穫量は、コシヒカリ66kg、もち米20kg
- ・お米について調べた内容
 - 「米の栄養パワー」 「食!日本と世界」
 - 「ヌカやワラは使えるの?」 「ご飯の炊き方、今・昔」
 - 「行事とお米」 「笹を使った料理がいっぱい」



⑩妙高高原南小学校「いただきます ごちそうさま」

- ・杉野沢の田んぼとバケツ稲づくり
 - お米作りの大変さを学ぶ→食事に対する考え方の変化
- ・食育講演会で学ぶ
 - 食べ物の大切さを学び、給食も残さず食べる
- ・食べ物は体をつくり、食べ方は人を作る
 - 「いただきます、ごちそうさま」の意味を知る



⑪新井中央小学校「安全・安心な おいしいあおそら米をつくろう」

- ・手作業での農業体験
 - すじまき見学、田起こし、代かき、田植え、草取り、稲刈り
 - 体験を通して学んだことを発表
- ・北陸研究センターで学習
 - インターネットで調べたことも含め、今後の米作りのあり方について、私たちの考えを発表



「妙高っ子・米こめサミット」は、妙高市の基幹産業である稲作に係る学習を通して、稲作について多面的に考え、自分の考えを創り発信できる子どもを育成することを願って計画・実施いたしました。新学習指導要領では、言語活動の充実をはかるとともに、知識・技能の活用を図る学習活動や総合的な学習の時間を中心とした探究活動を通して、思考力・判断力・表現力をはぐくむことが求められています。各学校で取組内容は若干異なりますが、5年生の社会科で学ぶ農業についての学習と総合的な学習の時間を中核として、学習を進めてまいりました。今後、更に各学校で交流学习を展開し、学びの質が高まることを期待しております。